

眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	眼窩内壁減圧術における骨膜弁の有無による内直筋偏位量の比較
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	眼形成・眼窩・涙道外科
研究責任者	准教授 高橋靖弘
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	眼窩内壁減圧術は眼窩の内側壁を除去する手術です。眼球運動障害及び複視は最も重要な眼窩減圧術後の合併症であり、眼球を動かす外眼筋の位置が偏位することで起こります。眼窩内側壁を除去した際には、10～30%程度の確率で発生します。眼窩内側壁減圧の術後複視の危険性を減らす方法として、内直筋の走行に沿って骨膜弁を残す方法が報告されていますが、その効果は不明です。本研究は、骨膜弁の有無による内直筋偏位の程度の差を調べることを目的としています。
対象となる患者さん	2009年4月から2021年4月までに眼窩内壁減圧を受けた甲状腺眼症患者さん。
研究の方法	内直筋の偏位の程度を骨膜弁の有無で統計学的に比較します。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2022年4月30日
研究に用いる試料・情報	情報：年齢、性別、臨床所見、CT画像、等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2021年9月30日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者：准教授 高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

	電話 0561-62-3311 ( 内線 12314 )
--	------------------------------